

67. 「腹話術の祭典」(第38回腹話術発表会)と「出前腹話術」

グループ名 和歌山県腹話術協会

代表者 宮本 敏企

① 活動の目的

- ・「腹話術の祭典」へ来場される方々と舞台発表者との交流を通じて、「笑い」、「癒し」、「喜び」、「感動」を与えることで、高齢者・障がい者・大人・子供等様々な世代を含めた人々に対して、社会生活不安からのストレス軽減を図る
- ・会員は腹話術演技の研鑽を日々続けながら、「出前腹話術」で地域へのボランティア活動の楽しさや大切さを広報する。

② 活動概要

月1回「例会」と題して腹話術の練習と情報交換会を地元コミュニティーセンターで開催し、保育園、幼稚園、学校、介護施設等には無料ボランティアで出前訪問し、腹話術を中心にマジック、踊り、小話等を披露し地域の皆様に「笑い」、「癒し」を与えている。そして、年1回は和歌山県民文化会館等において、日頃の練習の成果を披露し、ご来場された方々に対して「喜び」や「感動」を与えている。会員は現在32名で60歳以上の方が中心に活動している

③ 決算報告書

収入	大同生命厚生事業団助成金			100,000円
支出	会場賃借料	ホール使用料	35,660円	130,020円
		付属設備利用料	47,130円	
		音響・照明人件費	44,280円	
		消耗品利用料	2,950円	
	印刷製本費	招待チケット代	32,100円	60,612円
		プログラム代	28,512円	
	通信運搬費			19,866円
	写真、ビデオ制作費			54,000円
	謝礼金	ゲスト出演	20,000円	50,000円
		総合司会者	30,000円	
	手ぶら拡声器			26,784円
	消耗品費	事務用品	3,801円	6,633円
		お茶お菓子代	2,832円	
合計				347,915円

